



発刊日：令和3年2月

発行元：認知症疾患医療センター&認知症相談支援センター  
協同で発行しています！

今号では「なごや認知症の人おでかけあんしん保険事業」をご紹介します。

### ●●なごや認知症の人おでかけあんしん保険事業のご紹介 ●●

名古屋市では、令和2年10月から認知症の人が安心して外出ができ、もしもの事故に備える「なごや認知症の人おでかけあんしん保険事業」を始めています。

認知症になると、失敗を指摘されたくない、知っている人に会いたくないなど様々な理由で家に引きこもってしまう人が多くいます。特に昨今のコロナ禍においては、この状況が顕著に表れているようです。しかし、引きこもりの状態は、意欲低下や抑うつなど認知症の症状を悪化させる要因になります。認知症になっても、これまでと変わらない日常を続けることが大切です。この事業は、認知症の人や家族の安心の外出を後押しするとともに、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指しています。申請書類は市内のいきいき支援センター、区役所福祉課、区保健センター、支所区民福祉課に配架しています。

#### 〈対象になる人〉

名古屋市民であり、  
認知症の診断を受けている人

#### 〈保険料〉

無料 ※診断書料は自己負担です。

#### 〈補償の対象〉

- ①賠償責任保険 上限2億円
- ②給付金 上限3千万円  
(事故の相手方(名古屋市民)の死亡  
または後遺障害)
- ③見舞金 15万円  
(事故の相手方(名古屋市民以外)の死亡)

※②、③は誰も賠償責任を負わない事故の場合に、  
その相手方に支払われるものです。

#### 補償される 事故の例



問合せ先

名古屋市認知症相談支援センター

名古屋市昭和区阿由南通 3-19 昭和区役所 6階

TEL 052-734-7099

#### 問合せ及び認知症に関する相談窓口

認知症コールセンター 認知症の症状や介護等に関する様々な相談

◆名古屋市認知症コールセンター ☎052-734-7089

認知症疾患医療センター 専門医療、鑑別診断と治療、急性期対応等に関する相談

◆名鉄病院 ☎052-551-2802

◆まつかげシニアホスピタル ☎052-352-4165

◆もりやま総合心療病院 ☎052-795-3560

なごや認知症あんしんナビ

検索



名古屋市の認知症の  
情報はウェブサイト  
をご覧ください

高齢者の方の話す内容や行動がおかしいと、ご家族や近隣者に気づかれて病院を受診し、その際に訪問看護を勧められることがあります。認知症の初期の段階では、自分の身の回りのことをはじめ日常生活を営むことはできますので、患者様は「なぜ訪問看護を受けなければならないのか」と必要性を感じていないことが多いです。

ここで少し「訪問看護」についてご説明いたします。医師の指示のもとに患者さまのご自宅に訪問して、症状（幻覚・妄想・睡眠障害など）の確認やお薬の管理、体調、ご近所との付き合い方などを見させていただき、主治医や関係機関と連携しながら、お一人お一人の状況に合わせ、安心して暮らせるように支援していきます。患者様が訪問看護を受けることに同意していただかないと利用を開始できないので、ご家族と一緒に面談したり、「先生やご家族に頼まれています」とお伝えしたりすることで「怪しい者ではない」と理解していただけるよう努めています。それでも、次に会ったときには初めて会うような顔をされることもあります。訪問看護は定期的にご自宅に伺いますので、話す機会を重ねることで、顔を覚えてもらえ受け入れてもらえるようになっていきます。

ここからは治療や生活の支援に向けた取り組みとなります。認知症の特徴には症状の表れ方に二面性があり、身近な介護者の前では認知症の症状が強く出ていても診察の場面では一番良い状態を見せていることがありますので、ご自宅での様子をきちんと把握することが大切となります。

薬による治療が行われますが、環境をあまり変えないようにして生活環境や生活習慣を患者様のリズムやペースに合わせ、人と関わる時間を持つことが認知症の症状を和らげたり、良い状態を少しでも長く維持したりということにつながります。

いずれ病気は進行しご自宅での生活が困難になっていきます。ご家族の負担が増え、いら立つことも少なからず出てきます。世話をすることは体力的にも精神的にもとても大変です。ご家族が心身ともに健康であることが認知症という病気に向き合っていくうえでとても重要です。そのためにはご家族の方にも支援が必要です。一人で抱え込むことはせず介護支援サービスや訪問看護について知っていただき、病気の進行に合わせ利用されるとよいと思います。

名古屋市認知症相談支援センターは、公式 YouTube チャンネルを開設し、認知症の人本人や家族の声を地域に届けています。

認知症は誰もが関わる可能性のある身近な病気にも関わらず、まだまだ特別な病気と捉える誤解、偏見があります。経験の専門家でもある当事者の声や生き生きと活動している姿を届けることは、認知症に関する社会の見方を変えるきっかけとなります。また、多くの認知症の人に希望を与えます。

昨今のコロナ禍において、当事者が語る機会が少なくなりました。しかし、この状況においても、認知症の人本人、家族の声を届け続けようと始まったのが YouTube を活用した配信です。



## 認知症とともに 歩む人のまなざし

～認知症の人本人と家族の語りをご覧ください～



Twitter



YouTube

名古屋市認知症コールセンター  
認知症のこと 聴きたい 聴いてほしい

052-734-7089

### 第1弾

認知症になっても私は私のまま

### 第2弾

お父さん、

元気で長生きしてください

### 第3弾（近日公開）

「絶対に怒らない」この心情にたどりつくまでの夫婦の歩み